

SAKUの風

佐久市議会だより

(2023年3月発行)
佐久市議会「SAKUの風」
代表 高柳博行
佐久市中込3056(佐久市議会内)
0267-62-3495

予算案で賛否が分かれました～3月議会

浅科小の給食室廃止の関連事業費

3月22日に閉会した3月議会では、令和5年度の予算案を審議しました。その中で、学校給食望月センターの改修工事のための設計委託料400万円について、賛否が分かれました。私たちはこの委託料の削除を求める「組み替え動議」を提出し、予算案に反対しました。

結果は残念ながら **7対18** で、**もとの予算案が可決**されました。

私たちの反対理由

この改修は、浅科小にある給食室の廃止と、望月センターへの統合が前提です。私たちの最大の反対理由は、**当事者である子どもや保護者への市の説明に重大な欠陥がある**ことです。

【事実】 市は浅科小の給食室廃止について、昨年7月、10月に住民説明会計6回(参加者計78人)、12月にパブリックコメント(意見は8人)を実施。廃止への明確な反対意見は多数ありましたが、明確な賛成意見はパブコメの2件のみでした。

【佐久市の解釈・答弁】 説明会、パブコメの実施は地元小中学校、保育園、幼稚園の全保護者に通知した。保護者の関心が高い問題でもあり、反対意見があれば参加したり声を上げたりするはずなので、参加が少なかったことは市の方針に「一定のご理解を得た」と判断できる。

【私たちの考え】 今は、費用も手間も最小限でほぼ全ての保護者から意見を聞けるオクレンジャーという道具があります。しかし市教委は保護者が求めたアンケートも学校での説明会も行いませんでした。声を満遍なく聞くためにできることをやらず、**声が少なかったことをもって「理解を得た」とは、あまりに乱暴な解釈**です。また、アンケートをとらなかった理由について市は「総合的に集約化(=給食室廃止)がベストと考えている。これで進んでいくしかない」などと答弁しています。要するに、市が行ったのは**結論ありきの説明会**で、理解が得られても得られなくても方針を変えるつもりはない、という答弁です。そのような「市民不在」の進め方を認めるわけにはいかないため、反対しました。

国保税の値下げ ～ その他の議案等

国保税値下げ 今年4月から佐久市の国保税が年額で1世帯平均4900円下がります。佐久市の現在の国保基金(=貯金)は、県内トップクラスの12億円余。「基金をためるよりも、増税に耐えてきた加入者へ還元を」と値下げを求めてきた私たちも、賛成しました。

こどもの権利条例、いじめから子どもを守る条例 3月議会では、議会が2年かけて取り組んできた子ども関連の2つの条例が成立しました。社会委員会提案の「権利条例」は、子どもが生まれながらに持っている「安心して育つことができる権利」や「子どもの最善の利益の尊重」を社会全体で理解していく第一歩です。総務文教委員会提案の「いじめから守る条例」は、子どもにとって最大の課題であるいじめをなくしていくために、今後、最大限に活用していく必要があります。



1月に会派で台風被災地の現状を視察し、復旧の状況を確認。一般質問でたどしました。

「一部事務組合」をご存じですか？

行政が行う事務の一部について、複数の自治体がお金や人を出しあって共同で事務を行う組織を「一部事務組合」といいます。佐久市は水道、ゴミ焼却、し尿処理、老人福祉などの分野で10の一部事務組合を構成しています。各組合の議会に各市町村から数名ずつ議員が出ており、私たち3人も計6つの組合議会に所属しています。今回は、普段あまり注目を浴びる機会が多くない一部事務組合の主な活動について紹介します。(※ カッコ内は所属している当会派議員です)

佐久平環境衛生組合(土屋啓子・議長)・・・佐久、佐久穂両市町のし尿処理施設です。施設の老朽化によって当初は中込の下水道管理センターに接続する案が検討されましたが、令和元年東日本台風で同センターが被災したためリスク分散について再検討した結果、佐久穂町の処理施設と統合し、今年4月から「佐久環境衛生組合」として両市町のし尿処理を行うことになりました。

新旧クリーンセンター(塩川浩志)・・・約40年間、佐久市と軽井沢町のごみを焼却してきた旧クリーンセンター(中込)が老朽化のため稼働停止し、2020年11月から、新クリーンセンター(北パラダ)で御代田、立科町のごみも合わせて焼却しています。旧クリーンセンターは現在解体工事中。アスベストや粉塵が飛ばないように対策を講じながら工事しており、今夏に解体終了予定です。

川西保健衛生施設組合(高柳博行)・・・川西赤十字病院の管理運営などを行っている組合です。2月の定例議会で、佐久、東御、立科の3市町村から病院への財政支援の額が改定され、これまでの1億600万円から1億5,000万円に増額されました。地域にとって、なくてはならない公的病院ですので、地域ぐるみでしっかりと支えていく必要があります。

こんなテーマで質問しました 一般&代表質問

一般質問は全議員が1人1時間、代表質問は会派代表が会派人数に応じた持ち時間で質問でき、各議員や会派の問題意識が表れる時間です。最近1年間の私たちの主な質問を紹介します。



【高柳博行】 ▼地球温暖化対策を推進するための市民の意識改革や企業連携の課題 ▼全国学力・学習状況調査の結果の分析と課題 ▼「穂の香の湯」の民営化方針に関する住民説明のあり方や、利用者増加に向けた取り組み ▼佐久鯉のブランド化に向けた取り組み ▼佐久市気候非常事態宣言を受けたカーボンニュートラルやバルーンフェスティバルでの二酸化炭素削減の取り組み ▼谷川・田子川の台風からの改良復旧の進捗状況

【土屋啓子】 ▼新型コロナ禍を受けた商工業者への支援策の課題 ▼野沢の子育て支援拠点施設のワンストップの相談体制作り ▼野沢児童館の整備の考え方 ▼県民運動広場跡地の再整備の考え方 ▼家庭ごみの分別変更やごみ処理手数料徴収への反対 ▼令和元年東日本台風後の河川しゅんせつの重要性和進捗状況 ▼災害時の避難所の運営や、避難行動要支援者の支援体制 ▼地域を巻き込んだ地域防災マップ作りや、マップの活用方法



【塩川浩志】 ▼新型コロナ禍における学校と児童館の連携の必要性 ▼市民の「知の拠点」としての新図書館整備の考え方 ▼中学校の部活動の地域移行の基本的な考え方と課題 ▼不登校対策、特別支援教育などにおける学校現場の人員不足 ▼浅科小の給食室廃止、望月給食センターへの統合の問題点 ▼「香害」への対応の現状と今後の課題 ▼放課後児童クラブ(学童クラブ)の必要性和運営を支援するための市の取り組み